

令和7年度「シラバス」 教科：工業 科目：工業技術基礎

単位数	2	学科(型) 学年	建設工学科 1年	教科書 副教材等	工業技術基礎(実教出版)
学習目標	工業に関する基礎的な技術・技能等を実習により体験的に学習する。工業の意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身に付ける。				
学期	学習内容			学習のねらい	
1	<コンピュータの利用> タイピング練習 ワードについて エクセルについて パワーポイントについて			・教科書等を使用し、タイピング練習をする。 ・文書作成・表計算・プレゼンテーション資料作成についての知識・技術を身に付ける。	
2	<水準測量実習> 基本操作 高低差の測定 往復観測 <軸組模型> 原寸図の作成 材料の切断、加工、組み立て			・測量器機・器具の構造を十分に理解する。 ・2点の読みの差が高低差であることを理解する。 ・往復観測の差が測量の誤差であることを理解する。 ・木造の軸組の名称を学習し、各部材の仕組や役割を理解する。 ・工具の正しい使用方法を実践的に学習する。	
3	<CAD> 基本操作・コマンドの確認 平面図作成			・2次元CADを使用して、課題図を模写しながら基本的な操作方法を身に付ける。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		・工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付け、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。			
思考・判断・表現		・工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野から自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身に付けている。			
評価方法	・実習における「主体的に学習に取り組む態度」を主に評価する。 ・実習によって身に付けた「知識・技術」、「思考・判断・表現」についても評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○説明をよく聞き、作業手順や寸法等に気を付けて実習に臨むこと。 ○工具を使用する際には、安全面に注意すること。 ○毎時間、作業服とファイル、筆記用具を準備すること。					